

令和3年11月5日

土佐清水市議会議長
永野 裕夫 様

(株)ジャパンウインドエンジニアリング
代表取締役 中渡瀬 秀廣



回 答 書

令和3年10月20日、土佐清水市議会永野議長様と三原村議会浅井議長様が、高知県林業振興環境部自然共生課に対し、令和元年6月5日に開催された高知県環境影響評価技術審査会における事業者発言の真意を回答頂きたいとのご要請があった旨、同課坂田チーフよりご連絡を頂きました。

また同月25日、永野議長様より、弊社と県自然環境課との協議内容について回答頂きたい旨、弊社にご要請を頂きました。永野議長様のご質問の趣旨は、環境影響評価技術審査会の議事録の内容と、事業者が県に送ったメールの内容について市議会で論議され、結果的に市議会が一定の方向性を定めていたかのような疑義が生ずる恐れがあることに違和感を持たれたとのことでした。

上記のご要請に対し、以下のとおり回答させていただきます。

令和元年6月5日に開催された環境影響評価技術審査会は、事業者が私ども(株)ジャパンウインドエンジニアリングのみであり、私が事業者を代表して出席しておりました。折しも前日の6月4日には、土佐清水市、三原村の各行政ご当局に対し、配慮書ならびに事業計画の説明をさせて頂いており、その時の両行政ご当局の感触をお伝えする意味で、両市村の活性化につながることから本事業に期待感を頂いているという表現になりました。

三原村の当時の議長からは、土佐清水市議会も三原村議会と同様に、地域の活性化につながることから大勢反対することはないだろうとのご意見を伺い、土佐清水市議会も行政と同様の意見として回答させて頂いた次第です。これは土佐清水市議会より、所定の手続きを経て正式に賛成のご回答を頂いたということではなく、あくまでも私どもの感触としての回答です。

なお、環境影響評価技術審査会の議事録は、削除・訂正は出来ないこととしておりますので、県自然共生課と永野議長様にご相談させて頂き、今後、議事録を見た方の誤解を招かない手段を検討して参ります。

また、この議事録の事業者回答については、質問された委員に直接真意をお伝えし、誤解がない旨確認しておりますし、他の審査会委員の先生方にも、私ども事業者の見解の真意は十分伝わっているものと受け止めております。

今後とも引き続きご指導の程、よろしくお願い致します。

以上